



本年度の運動会に関するご報告

校長 森 和 久

5月22日(土)に実施予定
であった運動会の参観について

で、オンラインによる形に変えさせていただきました。保護者の皆さまには、お子様の頑張っている姿を直接ご覧いただけずにご不便をおかけしました。このような判断をしました経緯について、この場を借りて報告させていただきます。

直前まで、まん延防止等重点措置の延長の方針が打ち出されていた愛知県下にも緊急事態宣言が発令されることが明らかになったのは5月7日(金)でした。緊急事態宣言発出後の学校に求められたことは、直ちに休校にするのではなく、さらなる感染防止対策を行ったうえで、教育活動を実施するというものでした。具体的には対面での話し合いの制限、リコーダー、調理実習、水泳の授業の見合わせということが言われました。

運動会は、屋外で行うことから、蜜を避ける工夫をすれば実施可能という状況でした。ところが10日の週に入り愛知県では感染者数の急増が報告されるようになりました。運動場での感染リスクは少ないとしても、徒歩で学区の学校に移動するだけの公立とは違い、多くの方に一定の距離を移動していただくことになる本校の状況を鑑み、まずは、参観にお越しいただくことは避けた方がよいのではないかと考えるようになりました。そして、その判断をするリミットは1週間前の14日(金)であろうと考えました。

対応としては、①中止、②延期、③無観客実施でオンライン配信、④分散実施オンライン配信という選択肢が考えられました。①の中止は、せっかく子どもたちが一生懸命練習してきたので何としても避けた

い。②は、延期先の日程と会場の確保が難しく、仮に取れたとしても、その時点の感染状況はわからない。③が本当は望ましかったのですが、天気予報は雨。仮に午前午後と実施する当初の計画で日程を組んでしまうと、雨の場合、運動会はできないのにもかかわらず、変則的な日程で長時間子どもを拘束することになってしまう。そこで、④の案として、総踊り、学年競技を分けて実施し、その様子を撮影して、オンライン配信するという形式を取ることにいたしました。

22日(土)は前日の大雨が上がり、天候的には暑すぎず、申し分のない日となりました。しかしながら、運動場は水たまりが多くある状態でした。朝から教員と教育実習生により、水を吸い、土を入れる作業を行い、何とか整えることができました。そして、まず奇数学年が移動して総踊りを行い、次に、偶数学年が移動して総踊りを行いました。子どもたちは、練習の成果を広い運動場で、他学年といっしょに表現できるということで、通常の運動会さながらのテンションで演技をしていました。結果的に、予定していたプログラムでの無観客開催は可能だったという悔いは残りますが、中高の運動場で総踊りが実施できたことはとてもよかったと思います。

保護者の皆さまには、急な変更にもかかわらず、ご理解をいただきありがとうございます。撮影した動画は、様々な制約の中で試行錯誤し、工夫をこらして作成したものです。十分でない点は多々あるかと思いますが、どうかご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

今後も感染状況等を見極めながら教育活動を進めて行くこととなります。急な変更が今後もあるかと思いますが、どうかご協力をお願い申し上げます。

